

そのまま？ たとえ？ 見分けプリント①

小学生・○をぬって、意味を箱からえらぶ

なまえ _____

ひづけ _____

- ・「そのまま」は 字の とおりの 意味、「たとえ」は 慣用句の 意味です。
- ・たとえの意味で つかって いる ほうの 文(アか イ)の 右の ○を ぬろう。
- ・その 意味を、下の 意味の 箱(あ～こ)から えらんで(使わない 意味も あります)、あ～この きごうを 書こう。

れい ア ストーブで 手を やいて しまった。／イ 弟の いたずらに 手を やいた。
→ イの ○を ぬる たとえの意味＝あつかいに こまる(きごうは 箱から さがして 書く)

- (1) ア キのうの しごとは 骨が 折れた。 ☐
- イ ころんで うでの 骨が 折れた。 ☐
- たとえの意味の きごう
- (2) ア あつい おゆに 水を さして、ぬるく した。 ☐
- イ もり上がって いた ところに 水を さした。 ☐
- たとえの意味の きごう
- (3) ア この 店は 台所用の 油を 売って いる。 ☐
- イ おつかいの 帰りに 油を 売って いた。 ☐
- たとえの意味の きごう
- (4) ア 兄が 一位に なって、鼻が 高い。 ☐
- イ あの 人形は、とても 鼻が 高い。 ☐
- たとえの意味の きごう
- (5) ア 宿題を わすれた ことを 言われ、耳が いたい。 ☐
- イ 大きな 音を 聞きすぎて、耳が いたい。 ☐
- たとえの意味の きごう
- (6) ア ごみを 川の 水に ながして しまった。 ☐
- イ キのうの けんかは 水に ながした。 ☐
- たとえの意味の きごう
- (7) ア 自分の ことは たなに 上げて、人を 注意した。 ☐
- イ つかわない 本を、高い たなに 上げた。 ☐
- たとえの意味の きごう
- (8) ア 音楽に 合わせて、リズムよく 手を 打った。 ☐
- イ 台風が 来る 日に そなえて 手を 打った。 ☐
- たとえの意味の きごう

意味の箱(あ～こ)

あ ほこらしく 思って 自まんに 感じる
う 自分の 失敗を 見ない ふりを する
お 前もって 対さくを 立てる
き はずかしくて 顔が 赤く なる
け すぎた いやな ことを なかった ことに する

い おどろいて 目を 大きく 見ひらく
え とても たいへんで 苦勞する
か 自分の 悪い ところを 言われて つらい
く うまく いって いる ことを じゃまする
こ しごとの とちゅうで おだ話を する



そのまま？ たとえ？ 見分けプリント①【こたえ】

なまえ

小学生・〇をぬって、意味を箱からえらぶ

ひづけ

〇のつけ方

意味のきごうが箱の意味と合っていれば〇。

〇をぬったほうは、ア4つ・イ4つになっている。数が合わないときは見なおす。

小さい字は見分ける手がかりの言葉（場しよ・道具・相手・げんいん）です。

箱の意味のうち2つはどの問題にも使いません。

- (1) ア キのうの しごとは ^{ほね}骨が折れた。 たとえ：「きのうの しごと」 ☒
- イ ころんで うでの ^{ほね}骨が折れた。 字の とおり：「ころんで」 ☐
- たとえの意味のきごう **え** とても たいへんで 苦勞する
- (2) ア あつい おゆに 水を さして、ぬるく した。 字の とおり：「あつい おゆに」 ☐
- イ もり上がって いた ところに 水を さした。 たとえ：「もり上がって いた」 ☒
- たとえの意味のきごう **く** うまく いっている ことを じゃまする
- (3) ア この 店は 台所用の 油を 売って いる。 字の とおり：「台所用の」 ☐
- イ おつかいの 帰りに 油を 売って いた。 たとえ：「おつかいの 帰り」 ☒
- たとえの意味のきごう **こ** しごとの とちゅうで おだ話を する
- (4) ア 兄が 一位に なって、鼻が 高い。 たとえ：「一位に なって」 ☒
- イ あの 人形は、とても 鼻が 高い。 字の とおり：「人形は」 ☐
- たとえの意味のきごう **あ** ほこらしく 思って 自まんに 感じる
- (5) ア 宿題を わすれた ことを 言われ、耳が いたい。 たとえ：「宿題を わすれた」 ☒
- イ 大きな 音を 聞きすぎて、耳が いたい。 字の とおり：「大きな 音を」 ☐
- たとえの意味のきごう **か** 自分の 悪い ところを 言われて つらい
- (6) ア ごみを 川の 水に ながして しまった。 字の とおり：「ごみを 川の」 ☐
- イ キのうの けんかは 水に ながした。 たとえ：「けんかは」 ☒
- たとえの意味のきごう **け** すぎた いやな ことを なかった ことに する
- (7) ア 自分の ことは たなに 上げて、人を 注意した。 たとえ：「自分の ことは」 ☒
- イ つかわない 本を、高い たなに 上げた。 字の とおり：「つかわない 本を」 ☐
- たとえの意味のきごう **う** 自分の 失敗を 見ない ふりを する
- (8) ア 音楽に 合わせて、リズムよく 手を 打った。 字の とおり：「音楽に 合わせて」 ☐
- イ 台風が 来る 日に そなえて 手を 打った。 たとえ：「台風が 来る 日に」 ☒
- たとえの意味のきごう **お** 前もって 対さくを 立てる

意味の箱（あ〜こ）

あ ほこらしく 思って 自まんに 感じる

う 自分の 失敗を 見ない ふりを する

お 前もって 対さくを 立てる

き はずかしくて 顔が 赤く なる

け すぎた いやな ことを なかった ことに する

い おどろいて 目を 大きく 見ひらく

え とても たいへんで 苦勞する

か 自分の 悪い ところを 言われて つらい

く うまく いっている ことを じゃまする

こ しごとの とちゅうで おだ話を する